# からこんにちは！①

## 西ノ島中学校

### 総合的な学習の時間発表会

#### 1年生　～ジオパーク学習～

1月14日（木）に総合的な学習の時間発表会を行いました。1年生は、ジオパーク学習を行いました。講師の方に来ていただいたり自分たちで調べたりしながら、西ノ島の地質や動植物、人の営みについて学びました。発表会では7つのグループに分かれ、それぞれのテーマについて発表しました。ジオパーク学習を通して西ノ島のよさを改めて考えることができましたが、発表会では緊張してうまく伝えられない場面も見られました。今回の発表会の反省を今後に活かして、発表する力を身につけてほしいと思います。（文責　鴨木）

**【生徒の感想】**　山﨑　咲太朗

僕は、発表会を通して2つの力が身についたと思います。1つは、資料を自分で探してまとめる力です。本やパソコンなどを使って必要な情報を探して、うまくまとめることができました。2つ目は、隠岐のことを知るということです。調べていくうちに特別な物や地形を知って、改めて「隠岐ってすごいんだ」と思いました。発表ではあたふたした時があったので、次の機会に活かしていきたいです。

#### 2年生　～職場体験～

11月に行った「職場体験学習」で体験したことや学んだこと、将来について考えたことを各自がまとめ、ポスターセッション形式で発表しました。お世話になった事業所の方や、中学1年生、保護者に来ていただきました。まとめる時には、聞き手にわかりやすく伝わるようにポスターに写真や図を入れ、見やすくなるよう色づかいを工夫しました。また、発表では聞き手を意識して大きな声で話したり、質問されたことに対して丁寧に答えたりすることができました。発表会を通して、自分の学びを振り返るとともに、さらに考えを深めることができたと思います。（文責　山根）

**【生徒の感想】**　田口　美緒

職場体験や発表をして、自分の夢や進路について考え直すことができました。私の夢はイラストレーターですが、職場体験をして、介護の仕事にも就きたいと思うようになりました。発表する時は、早口にならず大きな声で話せるか不安でしたが、ジェスチャーも交えながら冷静に発表できました。

#### 3年生　～地域課題解決提案～

3年生は、それぞれの進路に向かって巣立っていく最後の学期に、西ノ島町の良さや課題について捉え、西ノ島町をよりよくするためにはどのようなことができるのか、具体的な課題解決提案を行いました。提案を自分たちで考えるだけでなく、実際に携わっている大人に尋ねながら、より深めていきました。

学校の中だけでなく、実際に地域社会の方と関わることを通して、人と関わる力（コミュニケーション力、社会人スキル、他者を尊重すること）をつけていきます。さらには、様々な人と関わり情報を集めること（インタビュー、相談、アンケート）で、その情報を整理し分析する力、分析したものから自分たちの考えを導き出し、人に伝えるという様々な力の育成を目指します。

今年度は、町づくりに関わる4つの分野（観光、漁業、子育て支援、高齢者に関する福祉）で、次の3つの学習（課題把握、提案の素案づくり・練り上げ、提案発表）を行いました。

**①課題把握**

役場の担当者を教室に招き、グループディスカッション学習を行いました。それぞれの分野で、町にどのような課題があるのか、その背景は何か。さらには、どのような取組をしているのかなど、役場の担当者と対話をしていくことで掴みました。

**②提案の素案づくり・練り上げ**

グループディスカッションを受け、中学生なりの提案を考えました。その提案について、本当にニーズがあるのか？実現可能か？という観点で調査活動を行いました。生徒は、ニーズを調査するためにアンケートの作成・配布、さらには実現可能にしていくために、役場の職員や関係機関などに相談をしながら調査を進めました。

▲グループディスカッション前に自己紹介

**③提案発表**

2月5日（金）に西ノ島中学校で、保護者・役場関係者を招き、提案発表会を行いました。それぞれの提案内容は以下の通りです。

# 西ノ島小学校・西ノ島中学校

## 高齢者に関する福祉

**○提案**
中学生が介護体験をする場を作ろう。（体験内容を中学生が考え主体的に関わる）

**○目的**
介護等に関する担い手不足解消を目指し、中学生に興味を持たせる。

▲発表の様子

## 子育て支援

**○提案**
中学生が保育体験をしよう。（中学生にとっては体験の場、保護者は子どもを預ける場となる。）

**○目的**
保育士などの担い手が不足している。さらに、休日などに子どもを預ける場が少ないという2つの課題を解決する場にする。

## 漁業

**○提案**
個人漁業者の漁具を譲り受ける仕組みを作る。地元産魚介購入のポイントカードを作る。

**○目的**
個人漁業者が漁業就労しやすくなるようにする。地元産の魚の町内消費を進める。

▲鮮魚店を訪ねてインタビュー

## 観光

**○提案**
郷土料理ワークショップの開催、海を渡るジップラインの設置をする。

**○課題**
冬季の観光客の増加や観光客増加を目指した西ノ島らしさを活かした体験型の観光の増加。

**調査方法**
全中学生へアンケート
小学校・中学校保護者・教員へアンケート
関係者へのインタビュー・相談（介護施設職員・社会福祉協議会・保育園長・個人漁師・漁協・鮮魚店・観光協会職員・役場職員）
インターネットによる調査

## 学習を終えて

生徒からは「この学習を行って、西ノ島町について新たに知ることがたくさんあった。今後も授業やポスターなどでやっていることを伝えて行く必要がある。」という感想があり、地域と関わりながら学習をすることの必要性を改めて感じました。

生徒は、放課後に近所の漁師さんに話を聞きに行ったり、介護について家庭で聞いたりするなど、主体的に課題と関わろうとする姿が見られました。また、地域の方と関わりながら学習をすることにより、「地域に自分たちの学習を支えてくれる人がいる」ことについて感想を述べた生徒もおり、地域と自分との関わりを考える機会になりました。

提案発表に向けて、説得力を持たせるためには、今ある情報だけでは少ないことに気づき、電話などをしてさらに情報を集めました。

グループで提案に対する意見が割れ、悩み、話合いを重ねることによって新たな考えを生み出す場面もあり、協働していく力の育成にもつながりました。人と関わりながら、情報を整理し、人に伝える力の育成につながったと感じます。

発表の最後には、生徒一人一人が学習を通して感じたことや将来の自分との関わりについて語りました。**自分の成長した点や地域の方との関わり、将来の目標などを自分の言葉で語る中学3年生の姿から、西ノ島町の未来を担う子どもたちのエネルギーを感じました。**

なお、この学習を進めるにあたり、アンケートをお願いした保育園、小中学校保護者の皆様、インタビューを快く引き受けていただいた地域の皆様に厚く感謝を申し上げます。課題発見解決型学習を行うにあたり、地域は素晴らしい学び場です。今後とも、西ノ島の未来を担う子どもたちの育成のためにご協力をよろしくお願いします。

3月のにしのしまチャンネル内、わがとこニュースにて発表の様子が放映されます。よろしければご覧ください。

（文責　西ノ島中学校　能海
西ノ島町教育課　廣江）

次頁へ続く